



Go! 剛! NEWS!!

政務調査報告書

第37号

部活動の地域移行はどうか??

国は令和4年に部活動から地域クラブへ移行するガイドラインを策定しました。宗像市は令和5年9月から休日の移行を開始、学校単位から地域クラブ活動として実施される大改革の一步が踏み出されました。令和6年度から平日の移行も始まり、今後、段階的な移行が進んでいきます。

全国的に、地域移行後のゴールが示されていないという課題があるなかで、宗像市の目指す部活動の形を明確に示し、先駆的に新しいかたちを創造することで、文化スポーツのまちづくりをすべきと考えます。

宗像市立中学の過去5年間の生徒数は170人増加していますが、部活動の加入数は130人減少。これは少子化だけではなく、きめ細やかな指導、指導者の専門性や継続した体制があるクラブチームの人気、生徒・保護者のニーズの多様化などが原因だと考えられます。1年前の「当たり前だった部活がなくなるとハレーションが起きる」という感覚から明らかに変化を感じます。この背景や変化をふまえての対応が必要です。

他市に先駆けて、スポーツ・文化活動の受皿としてモデルとなるクラブチーム(野球、バスケ、バレー、柔道、剣道)の立ち上げや、「むなかたアカデミッククラブ」が開催されています。

「むなかたアカデミッククラブ」は宗像市が主催し、企画運営の株式会社グローバルアリーナのスポーツ人脈を活用した専門的な指導者により、学校間の垣根を乗り越えて学ぶことができます。10種目15教室の運動部、そして文化部の吹奏楽も加わり、中体連やコンクールへの出場が期待されます。

この部活動改革の成功のポイントは「継続性」です。質の高い指導者を担保して安全管理体制を整えた継続的なクラブ運営をするためには、クラブの運営者や指導者に対する一定の対価等が必要不可欠であり、単年ではなく複数年の契約の必要性を訴えました。先生の副職としての活躍の場やスポーツ選手のセカンドキャリア、スポーツビジネスの構築となり、宗像の新しい価値につながれば、と考えます。

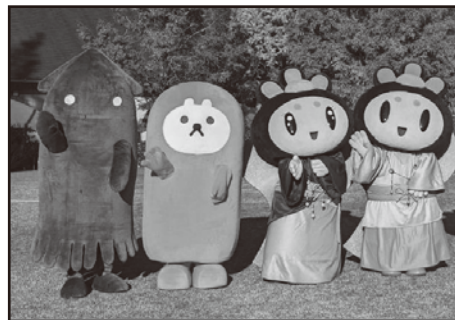


「むなかたのテンちゃん」の活用を!

むなかたのテンちゃんは、「宗像を広めたい、元気にしたい」という思いで1人の市民がつくったオリジナルキャラクターです。6年前にこの企画を熱弁され、その方の宗像愛が胸に響きフォローしてきました。

現在は、宗像観光協会、街道の駅赤馬館、海の道むなかた館の公認キャラクターに就任し、むなかたドライブスタンプラリーや大島謎解きゲームなど各種イベントの集客アプローチに活用されています。また、食品ロス削減の啓発物へのデザイン使用や鎮国寺の御朱印帳など幅広い分野で目にするようになりました。

魅力発信、PR効果など地域活性化のために活躍しており、宗像市は非公認ながら「すばらしい資源として、市民協働のまちづくりの一つの形として活用を行う」と認識しています。テンちゃんに込められた宗像愛の共感を広げるように、活動の支援を行い、新たな宗像の価値を創り出すように活用すべき、と考えています。



宗像はいいものがたくさんあるのに分かりにくい、伝わりにくい。それをエンターテイメントとユーモアで表現しています。たくさんの宗像キャラがいて、テンちゃんは宗像に生息するホンドテンをモチーフにしています。

着ぐるみはテンちゃんと黒子のイカ。このイベントでイカの中の人は私。



ご意見、ご感想などメッセージ頂ければ励みになります!

日々の活動はfacebookにて
fb.me/goyo4da

吉田ごうのホームページ
non3.jp/yoshidago

一般質問の会議映像は
宗像市役所HPにて



宗像市議会議員 吉田ごう

昭和48年 3月、宗像市田熊生まれ
東郷小学校~中央中学校卒業

平成3年 宗像高校卒業

平成8年 福岡大学経済学部卒業

平成8年 株式会社トランスオービット (旅行業)
入社、平成24年6月退社

平成24年 10月、宗像市議に初当選

令和2年 宗像市議に三選を果たす

現在 宗像市久原に在住
宗像市議会副議長
東郷地区青少年指導員会長

吉田ごう 議員活動ダイジェスト

- 7月 今年の田熊山笠は東郷小の150周年を記念した山笠。東郷小の清道入りでは子ども山笠も一緒に。中央中の生徒や宗像高校野球部も後押しをしてくれました。
- 8月 ひのさと48のイベントでそうめん流しをつくりました。竹を切り出し、半分に割って、節を削り、長すぎて車に乗らないから肩に乗せて人力で運びました。
- 9月 東郷コミセン主催のげんきフェスタ東郷では、中学生の同級生とクレープ屋の outlet と青少年指導員のパトロールで参加。年指導員のパトロールで参加しました。